



第3回定期考査を終えて

第3回定期考査が終了しました。どのような結果だったでしょうか。

多くの方が、前回の考査を受けて臨んだことだと思います。受験に向けて、限られた時間のなかで、すべきこと・できることを洗い出して受験に対しての照準を本格的に合わせる必要がある時期です。

2年生として受ける試験も、1月の実力考査と2月の定期考査を残すのみとなりました。各教科からアドバイスをいただいていますので、よく読んで、日々の学習や試験につなげましょう。

教科	アドバイス
現代の国語	今回は記述中心のテストでした。現代文は本文と問題をいかに丁寧に読むかがポイントです。スピードも大切ですが、終わったら見返せるくらいに余裕を持ちましょう。また、普段のグランステップではよく注意して一文一文問題を読む練習をしましょう。現代文は直前の勉強でできることは多くありません。日々の授業と宿題を大切に、相手に伝わる文章を心がけて挑めば自ずから点数は上がるはずですよ。
古典探究	古典探究の試験では、授業で読解する文章や文法が受験ではどのように問われるのかを意識できるように作成しました。特に正答率の低かった問題は、 五 問四(1) 現代語訳(やがて・ Ⓐ ましかば Ⓑ まし)、 三 問一I(2) 古語常識、 五 問四II(未然形+ば、已然形+ばの識別)です。一方、助動詞の活用問題は以前より正答率が向上しました。いずれにせよ、奇を衒った問題は出していません。普段の学習と継続が試された問題です。今後は、文法書や辞書、単語帳など手元にある教材を使いこなしながら現代語訳と内容理解に取り組みましょう。

数学Ⅱ	今回のテストは教科書の問題をベースとして出しています。基本となる事柄を正確に解けるかが最も大切なことなので、正答できなかった人はまずは教科書に記載のある定理・定義・問題の解き方を暗記するまでやってください。
数学B	今回の範囲「数列」は高校生が苦手とする単元である。したがって、君たちだけでなく、いつの時代に試験をやっても平均点はよくなる。このあともじっくりと時間をかけて勉強していく必要があるのだ。なぜなら共通テストで避けては通れない科目だからである。また、数学Ⅲを選択した人はこの「数列」にはさらに続きがある。したがって、今回の試験で60点以上取る力がないと数学Ⅲで大変苦勞することになるだろう。
論理表現Ⅱ	出題形式にも慣れて、取り組みやすかったと思います。いつも言われていることですが、英語は繰り返し学習することで力がつく教科です。また、3年生での学習を見据えたときに、「英語で自分の考えを表現する」が必要となってきます。その練習と捉え、出来る範囲での備えをしましょう。また e-learning は学習の仕方を各自が工夫することで得点に結びつきます。次のテストもそれぞれの課題を克服出来るよう頑張りましょう。We can do it!
英語コミュⅡ	平均 55.5 点 (追試受験者除く)。上位の者とそうでない者の差がさらに広がっています。これは良くない傾向です。将来君たちが受けるであろう大学入試には初読の文章が出て、それに対する理解度を測る問題が出されます。では、教科書の文を繰り返して暗記するような英語の勉強は無駄なのではないでしょうか。そうではありません。授業中に学ぶ英単語や文法や文章の構成の仕組みが頭の中に入っているから、初見の文章を読みこなすことができるのです。復習をしますか？定期考査の問題をもう一度やったら満点を取れますか？日々の授業を大切に地道に英語力を伸ばしていくことを期待しています。

